

蛍光灯器具用吊具（一般屋内用）

ツリグXFP300FW・ツリグXFP400FW・ツリグXFP450FW・ツリグXFP600FW
ツリグXFP800FW・ツリグXFP101FW・ツリグXFP150FW

●器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明 工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

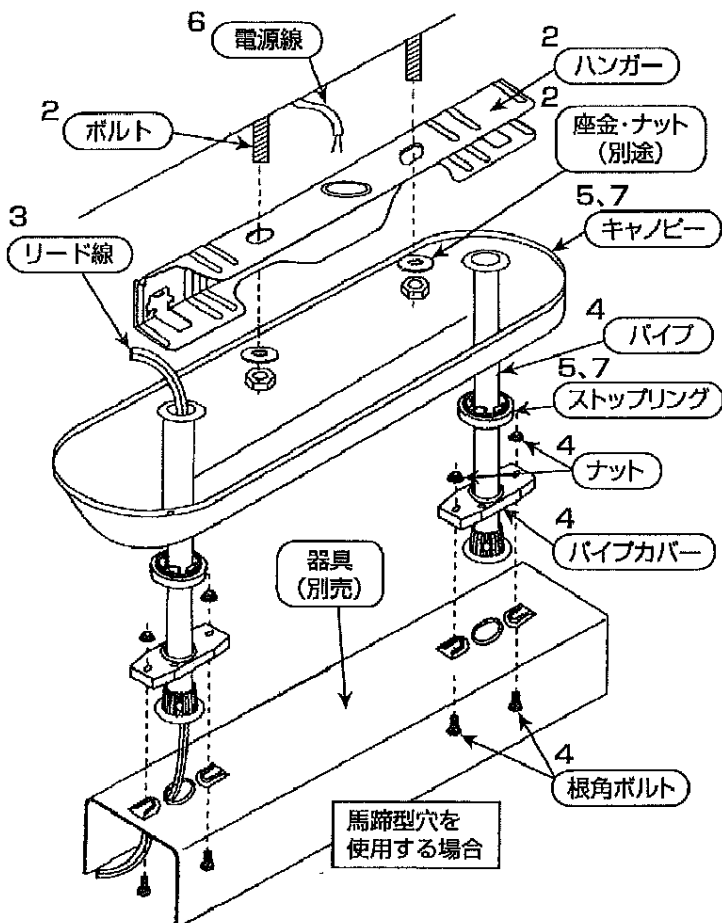
警告

- 施工は、取付方法にしたがい確実に施工する。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 吊具を改造しない。落下の原因となります。
- 天井取付専用吊具ですので、傾斜天井・壁面への取付けはしない。落下の原因となります。
- 適合器具以外使用しない。落下の原因となります。（器具の取扱説明書又は、カタログにてお確かめください。）
- 2本吊専用ですので1本吊はしない。落下の原因となります。
- 開放廊下等、風の強い所では振れ止め処理を行う。落下の原因となります。

注意

- 湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。落下の原因となります。

各部のなまえと取付け方



1. 取付け前の確認

- ・許容荷重 (30kg) に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。
- 不備があると落下の原因となります。

2. ハンガーの取付け

- ・ハンガーをボルト (W3/8またはM10) にて天井に確実に取付けてください。
- 不備があると落下の原因となります。

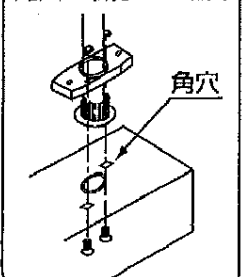
3. リード線を接続する。

- ・同梱のリード線を器具側の端子台に接続する。（詳しくは、器具側の取扱説明書をご覧ください。）
- ・リード線を器具側のパイプ取付部付近の電源穴から引き出す。（器具の電源穴にはプッシングをはめてください。）
- 接続が不完全な場合は火災の原因となります。

4. パイプカバーの取付け

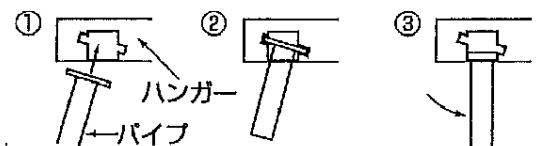
- ・パイプカバー中央の穴にパイプを通す。
- ・パイプにリード線を通す。
- ・パイプカバーを根角ボルト・ナットにて器具に取付ける。
- 取付が不完全な場合は落下の原因となります。

角穴に取付けの場合



5. パイプの取付け

- ・パイプにキャノピーを通す。
- ・パイプを持って器具を持ち上げ、ハンガーに確実に引っ掛ける。



パイプを斜めにし、ハンガーに差し込む。

取付が不完全な場合は落下の原因となります。

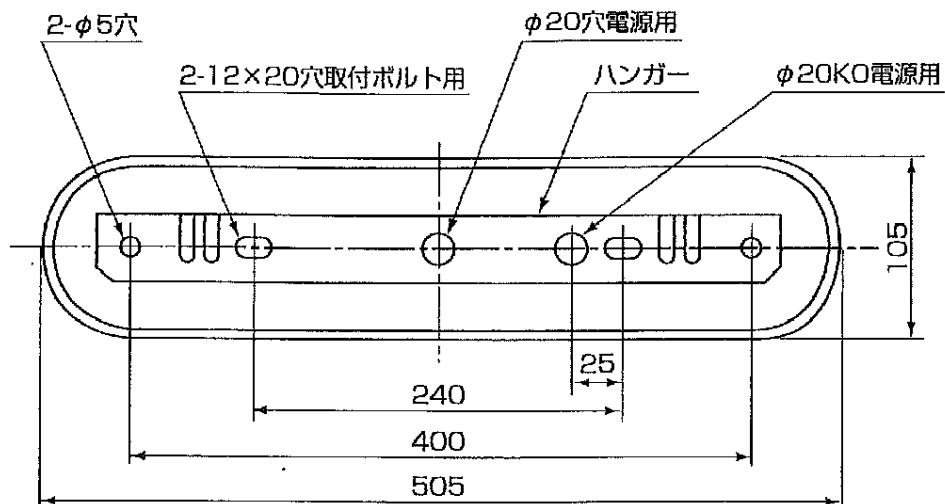
6. 電源線の接続

- ・電源線とリード線を絶縁処理を確実に施して接続する。
- 接続が不完全な場合は火災の原因となります。

7. キャノピーの固定

- ・ストップリングを押し上げ、確実にキャノピーを天井に密着させる。

吊 具 背 面 図



施 工 説 明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

- ・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 吊具を改造しない。落下の原因となります。

⚠ 注意

- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- 3～5年に1回は、工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換してください。

お手入れ

⚠ 注意

必ず電源を切って行なってください。感電の原因となります。

- ・吊具の清掃について……………
- ・汚れを落とす場合は、石けん水をひたしたやわらかい布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。
- ・シンナーやベンジンでふかないでください。変色・変質の原因となります。